

会議議事録

会議名	第1回教育課程編成委員会	
開催日時	2016年6月12日(日) 12:00~13:30	
開催場所	彰栄リハビリテーション専門学校 会議室	
参加委員	参加者10名	工藤秀機、佐藤太智郎、原島宏明、帆苺猛、保崎清人 森倉麗子、佐藤智恵子、金谷恵美、芦野裕一、長原将士
	欠席者0名	
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度教育課程編成委員会委員名簿 2. 前年度検討事項一覧 	
会議録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校長挨拶(保崎) 開会の挨拶。 2. 理事長挨拶(帆苺) 帆苺猛理事長から挨拶。 3. 前年度検討事項の経過報告(佐藤) <ol style="list-style-type: none"> (1) 臨床実習での学生は、合否の結果だけを求めすぎているため、臨床実習での本来の目的である「患者のことを第1に考える」「患者の疾患を含めしっかり診る」といったことが、不十分であることから教育及び指導方法について検討が必要ではないか。 >臨床実習Ⅰでは、「生活行為向上マネジメント」を取り入れた実習となるようマネジメントシートの書き方等について指導したが、十分には活用出来ていない。そのため、作業療法演習Ⅱでは、臨床実習Ⅰで受け持ったケースの情報を、「生活行為向上マネジメント」に従って再度整理させ、その人にとって大切な生活行為は何かという点から、目標設定を考え直させている。また、地域で生活する障害者グループの方々に協力をいただき、実際に一人ひとりから聞き取った生活行為上の希望を基に評価し、目標を設定する経験をさせている。さらに、「何のための評価か」「何のための目標か」ということを意識付けし、整理する練習を繰り返している。学生は、積極的に授業を聞いて質問も多く出されていることから、イメージにつながってきている。 (2) 作業療法士になる以前に、社会人として働くことをしっかり理解する必要がある。作業療法士に必要な知識及び技術だけではなく、就職して働くために必要な職業人としてのマナー及びコミュニケーション能力といった部分の教育について検討が必要ではないか。 >作業療法演習Ⅰでは、学生間でのマナーに関するロールプレイを行い、学校での基本的マナーに関しての心構えについて学んでいる。地域作業療法技術論Ⅱでは、作業所での体験実習により、地域で仕事をしている障害者と係わる中でTPOを身につけ、自分自身も働くというイメージができるよう指導を行っている。 	

(3) 臨床実習の際に、利用者の方と日常会話から話すことができない学生が多いため、学校で学んだ技術を実施する前に利用者から拒否されてしまい、通常の臨床実習が行えず終了するケースがあるため、非常にもったいない。よって、利用者との信頼関係の作り方及び初回面接の方法について検討が必要ではないか。

>作業療法演習Ⅰでは、高齢者だけではなく関係を取ることが難しい子どもとも、遊びを通してコミュニケーションを取る体験をさせている。また、作業療法演習ⅡとⅢの合同授業を行い、技術向上するための経験をさせている。これらのことで、全体的に学生が活発になった様子が見られ、患者に対する配慮等についても考える基礎につながっている。

(4) 臨床実習でよく学生に見られるケースが、利用者の病気を診て問題点及び課題を出そうとするが、「生活にどう影響するか」という部分を考えることができていないので、利用者の生活行為を診る視点の教育及び指導方法について検討が必要ではないか。

>各症例について、「生活行為向上マネジメント」に基づき、症例検討する指導を行っている。しかし、臨床現場ではまだ取り組んでいない施設もあるのが現状であり、臨床実習での取り組みを見て、今後の教育に活かしていきたいと考えている。また、今年度以降も各教員が講習会に参加し、「生活行為向上マネジメント」に対する理解を深め、授業に取り入れていく。

(5) 臨床実習の際に、認知症に関する基本的知識及び係わり方が不足している学生がいる。よって、認知症に関する周辺症状の理解及び利用者の過去の生活歴を把握することで、利用者の不安や気持ちを理解し対応できるような教育及び指導方法について検討が必要ではないか。

>認知症についての基礎知識や対応方法は、担当教員が講習会に参加のうえ学生に伝達を行ったり、ビデオや新聞記事を用いてイメージできるよう心掛けている。また、作業療法評価法Ⅱでは、交流分析的な考えを基に認知症模擬ケースの対応方法を学生に考えさせている。作業治療学実習Ⅱでは、認知症に対する作業療法及びバリテーションを活用した対応方法を学ぶとともに、模擬ケースに対する対応方法を考えさせている。

4. 意見交換

(1) 再試験該当者が多い授業科目については、学生の理解力の問題もあるかと思うが、授業内容についても再度検討を行ったほうが良いのではないか。

(2) 学生がポートフォリオを行うことにより、学力向上に結びつくのではないか。

5. 次回の日程について (長原)

次回の日程が提案され、第2回教育課程編成委員会を2016年8月

	<p>28日(日) 12:00~13:30にて開催することが決定した。 また、詳細については、後日連絡することが確認された。</p> <p>6. 閉会</p>
--	---